



## 心に響く声 = 4年生の表現活動 =

昨日の全校朝の会（表現活動）で、4年生の子どもたちが、『論語（学びて時に之を習ふ）』（右掲）の素読を発表しました。

学年行事で訪れた「会津藩校日新館」での学びをきっかけに、論語の素読に取り組んだ成果を披露しました。

大きな声でリズムカルに素読をする4年生の発表は、聴いている側も心地よく、心に響くものでした。本当に素晴らしい発表で、とても清々しい気持ちになりました。



子曰く。  
学んで而して之を時習す。亦説ばしからずや。  
朋あり遠方より來たる。亦樂しからずや。  
人知らずして而して愠せず。亦君子ならずや。



素読とは、意味は後回しにして、リズム良く、音読をくり返してゆくことで、自然に文章を丸暗記してしまうという学習方法です。文章の内容は漢文ですから、子どもたちにとっては、音読はしているものの、文章自体の意味を理解するのは困難です。それでも気にすることなく、音読しながら、言葉のリズムや音の響きとともに、文章を自然に丸暗記していきます。例えて言うならば、かけ算の九九が自然に言えるように、文章を自然に唱えられるようになっていくという音読による学習方法です。

### 《論語を素読することの効果》

- ★ 論語に凝縮されている、古くから大切にされてきた伝統的な考え方や生き方のヒントなどを無意識のうちに学ぶことができる。
- ★ 文章の意味が分からない場合でも、本を見なくてもスラスラ文章を言えるようになることで、言葉の響きやリズムを体感し、言語感覚が磨かれる。

4年生の子どもたちは、素読を通して大切なことを学んでいます！

はっぴょうの力！